

流通とS C・私の視点

2019年10月10日

視点(2311)

近未来の人口動態・社会動向・経済動向!!

(流通経済編)

2020年から戦後3回目の流通大変革時代が始まります。近未来(2040~2045年)に向けての流通やS C開発のキーポイントは次の通りです。

		変化の要因	内 容
人口動態	①	少子化	出生数は年間80万人時代
	②	高齢化	後期高齢者20%、初期高齢者含めると40%時代
	③	単身化	ヤング・アダルト・シニアの単身者40%時代
	④	人口・世帯の縮小化	2040年人口1億人(20%減)へ進行時代
社会動向	①	働き方改革による労働の多様化	テレワーク等の働き方の多様化と自由裁量時間の増大時代
	②	共稼ぎ世帯の標準化	1世帯にダブル収入が一般化する時代
	③	所得の多様化と所得の二極化	所得が多様化すると、所得の格差時代
	④	シニアワーカーの増大化	65歳以上のシニア層の就業の増大時代(70歳定年)
経済動向	①	GDPや消費の低成長時代化	モダン消費が終わり、経済成長はゼロあるいは低成長時代
	②	デジタル経済化	AIやIoTやRPAやCGやEコマース等のデジタル時代
	③	ニューモダン消費化	従来とは異なる商品・サービスや切り口の異なる商品・サービスの出現化
	④	新陳代謝によるゼロサム経済化	激しい新旧の入れ替わりによるプラス・マイナス=ゼロの時代

以上のように、日本が1945~1995年までの中・高度成長期(モダン消費経済時代)から1996~2020年までのデフレ・超低成長時代(ポストモダン消費経済時代)を経て、2021年からの戦後3回目の大変革を経て、2045年の戦後4回目の大変革に向かって進みます。25年経過すると、過去の延長線上の概念では通用しない時代になりますが、2045年の第4次大変革時代は100年(1945~2045年)に一度の超大変革が起こり、日本の2045年の景色は全く異なることが想定され2020年は2045年に向かっての出発点の時代となります。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代 表 六_む軍_{ぐるま}秀之